

外科専門研修プログラム（概要）

神戸市立西神戸医療センターで消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科の専門研修を希望される場合は、『兵庫京大外科専門研修プログラム』での一括採用の後、当院をメイン施設として研修することとなります。そこでこれからこのプログラムの概要について説明します。上記3科での具体的な研修内容に関しましては、それぞれの科を参照してください。

① プログラムの特色

神戸市立医療センター中央市民病院を基幹病院とし、兵庫県内の有数の高度急性期病院7病院（県立尼崎医療センター、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神鋼記念病院、公立豊岡病院、赤穂市民病院、姫路医療センター）を連携施設として配置する病院群を形成しています。

グループ全体で高難度手術を含む年間1万件以上の手術を行っており、数多くの手術を経験するとともに外科疾患の理解を深めるにはきわめて恵まれた環境にあります。また、専門研修指導医数は76名で、消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科のみならず肝胆膵外科高度技能指導医、内視鏡外科技術認定医など専門性の高い指導医陣を配しています。

② 採用について

『兵庫京大外科研修プログラム』の採用定員は各科合わせて17名の予定です。採用は書類審査と面接が行われ決定します。

本院（西神戸医療センター）での研修を希望される方は、『兵庫京大外科研修プログラム』に採用されての配属となりますので、まずは『兵庫京大外科研修プログラム』に応募してください。

③ 研修病院、研修期間

主な研修を行うメイン施設を設定し、そこで少なくとも連続した2年間の外科専門研修を行います。残りの1年の内、半年は基幹病院（神戸市立医療センター中央市民病院）、半年は連携施設での研修となります。またこの3年間の中で希望のサブスペシャリティ以外の科目をローテートし専門医に必要な症例を経験します。

メイン施設の選択は研修医師の希望が最優先されますが、各病院の状況を考慮した上で最終的にはプログラム管理委員会にて決定されます。

④ 外科専門研修終了後の進路

『兵庫京大外科研修プログラム』終了後は研修終了医師の希望で自由に進路の選択が可能です。もし、京大系列でのキャリアパスを考えられる場合は、京大外科交流センター、京都大学呼吸器外科との連携と情報共有を行い手厚くサポートします。また、ナショナルセンターや他大学の大学院進学等を希望される場合には希望に添えるよう相談いたします。

外科・消化器外科

外科・消化器外科は開院以来神戸西地域の中核病院として、癌診療と救急医療を2本の柱として発展してきた。日本外科学会認定施設、日本消化器外科学会認定施設、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Bに認定され、内視鏡外科学会技術認定医も2名在籍する。豊富でバラエティにとんだ症例を経験できるので、外科専門医を取得するための経験を十二分に積んでいただけたと思います。

呼吸器外科

肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍など胸部の悪性腫瘍や自然気胸、炎症性肺疾患、膿胸などの多彩な内容の外科治療を3人のスタッフで行っています。肺癌をはじめ大半の症例で完全胸腔鏡下手術を行っています。また肺癌に対して、腹腔鏡下区域の切除も積極的にを行っています。外科学会、呼吸器外科学会、胸部外科学会の認定施設となっており専攻医の修練の場として良い環境を提供できると自負しています。出身大学に関係なく将来呼吸器外科専門医を目指す先生を歓迎します。

乳腺外科

乳腺外科においては、日常の乳腺外来診療、超音波やマンモグラフィをはじめとした乳房画像診断、穿刺吸引細胞診からマンモトーム生検といった穿刺針生検、手術、薬物療法と幅広い乳腺診療の研修が可能です。放射線科、病理診断科、形成外科との連携も良好です。学会認定は日本乳癌学会認定施設、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー・インプラント実施施設、日本超音波医学会研修施設となっています。乳腺専門医を取得するための経験を十分に積むことができます。